

平成 27 年 7 月 9 日

氷見市長 本川祐治郎 様

## 要 望 書

藪田地区自治会

区長 矢代政則



小杉地区自治会

区長 廣瀬達之



泊地区自治会

区長 高野博隆



宇波地区自治会

区長 荻野信吾



富山県議会議員 藪田栄治

氷見市議会議員 荻野信吾

氷見市議会議員 松原博之



当地区の振興発展及び生活安全に係る下記の事業の推進について、次のとおり要望いたします。本件につきましては国事業でありますので、氷見市より国に対して整備促進の要望を積極的に行っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 要望事項

### 国道160号（藪田児童公園～脇方橋間）の改修

#### 1. 要望理由と現状

関係機関のご尽力等により能越自動車道が灘浦インターチェンジまで開通しましたが、小杉、泊地区住民にとって、国道160号が唯一の生活道路であることに変わりありません。かねてより、藪田3地区自治会（藪田、小杉、泊）は地区の安全、安心を第一に考え、住民の命と暮らしを守るとともにより良い地域社会をつくるため、国道160号の道幅の拡幅とトンネルの拡幅、歩道の整備等を強く要望して参りました。現在、部分的な整備はしていただいておりますが、急カーブ箇所をはじめ、まだまだ、危険箇所が残っております。

要望区間では、過去に死亡事故や人身、物損事故が数多く発生し、住民は常に身の危険を感じながら、不安な日々を送っております。能越自動車道の開通により交通量が減少すれば、運転手の心理として速度を上げがちになり、更に危険度が増すことも予想されます。

地区住民の生活道路として、利便性と安全性をしっかりと確保されるよう、国道160号要望区間の根本的な対策をお願いするものです。

#### 2. 具体的な要望事項

要望区間の中で最も危険度が高い場所は、泊地内の急カーブ箇所です。ここには民家等の建物が道路沿いに迫っていることから、見通しが悪く、自動車や自転車の走行や人の歩行にも危険な箇所です。更に、道路幅が狭く、歩道が無い箇所もあって、歩行者の横断にも常に事故の危険が伴っています。

地区住民の命と暮らしを守るため、急カーブの解消、見通しの確保に早急に取り組んでいただきますよう、お願いいたします。

なお、要望区間には同様の危険箇所が幾つも存在しますので、要望区間全体の危険度を調査され、危険度の高い順に改修をお願いします。

添付資料

1. 危険箇所(4ヶ所)を含む要望区間全体を示す地図
2. 危険箇所の現場写真

# 要望区間

資料1.



危険箇所 1.

平成 27 年 6 月 27 日

① 国道 160 号線（薮田トンネル入口）



② 国道 160 号線（薮田トンネル→旧薮田小）



# 危険箇所 2.

資料 2. - ②

平成 27 年 6 月 27 日

① 国道 160 号線（泊地内：里木酒店前）



② 国道 160 号線（泊地内：里木昭男宅付近）



# 危険箇所3.

資料2-③

平成27年6月27日

① 国道160号線（泊地内：神明社前）



② 国道160号線（宇波地内：一石山付近）



# 危険箇所 4.

平成 27 年 6 月 27 日

① 国道 160 号線（宇波地内：うみあかり前）



② 国道 160 号線（宇波地内）

